



## 2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月15日  
東

上場会社名 株式会社アスタリスク 上場取引所  
 コード番号 6522 URL https://asx.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 鈴木 規之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括室長 (氏名) 山本 和矢 (TEL) 050-5838-7864  
 定時株主総会開催予定日 2024年11月25日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期の連結業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	1,578	△10.3	△224	—	△176	—	△389	—
2023年8月期	1,759	△26.9	△192	—	△179	—	△170	—

(注) 包括利益 2024年8月期 △397百万円(—%) 2023年8月期 △168百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	△54.81	—	△22.4	△6.6	△14.2
2023年8月期	△24.01	—	△8.5	△6.9	△10.9

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 一百万円 2023年8月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	2,657	1,539	57.9	216.40
2023年8月期	2,719	1,934	71.2	272.16

(参考) 自己資本 2024年8月期 1,539百万円 2023年8月期 1,934百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	△74	△27	298	467
2023年8月期	△687	△491	491	251

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	1,160	76.1	19	—	17	—	2	—	0.34	
通期	2,719	72.3	223	—	218	—	99	—	14.03	

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年8月期	7,113,400株	2023年8月期	7,109,400株
② 期末自己株式数	2024年8月期	70株	2023年8月期	1株
③ 期中平均株式数	2024年8月期	7,110,296株	2023年8月期	7,084,169株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2024年10月15日(火)に機関投資家・個人投資家・アナリスト向けの説明会動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内外の人の流れの活発化に伴うインバウンド需要の回復や雇用・所得環境の改善等の要因から社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、エネルギー資源や原材料、資材等の高騰が依然として続いており、今後も国内経済の動向に関しては、日米の金融政策や為替の動向など外部環境の変化を注視していく必要があります。

こうした経済環境のもと、当社グループは「モノ認識」と「モバイル」を軸とした事業展開を行っております。バーコードリーダー、RFIDリーダー/ライター、赤外線通信リーダーなどの「AsReader」の販売と、当該製品を活用するためのアプリケーションやシステムの提供により、お客様のDXを推進、省力化・効率化を進めてまいりました。また、次期主力製品のための画像認識技術の研究・開発を進めております。顔認証技術を用いた製品「AsReader GoMA」につきましては、2023年8月期に当社事務所において稼働を開始しており、2024年9月に発売を開始いたしました。

さらに、中長期的な成長を維持する観点から、営業・研究開発・広報・管理面での人材強化や、大きなシナジーを生む可能性のある企業との資本業務提携、新たなDX提案に向けた研究開発の促進をはかってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,578,458千円(前連結会計年度比10.3%減)、営業損失224,846千円(前連結会計年度は192,078千円の営業損失)、経常損失176,903千円(前連結会計年度は179,540千円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純損失389,744千円(前連結会計年度は170,071千円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (AsReader事業)

AsReader事業の連結売上高は1,290,629千円(前連結会計年度比4.0%減)、セグメント損失は41,195千円(前連結会計年度は33,514千円のセグメント損失)となりました。当社主力商品である「AsReader」の販売では、国内向けでは、自動車業界、小売業界、物流業界、医療業界及び自動販売機業界への販売がありました。海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありました。一方で、顔認証レジ関連の新製品の開発及び実証店舗の開店、運営に関する費用や、棚卸資産の評価損の計上、海外における販売実績が当初より遅れている影響などにより、セグメント損失を計上する結果となりました。

#### (システムインテグレーション事業)

システムインテグレーション事業の連結売上高は276,146千円(前連結会計年度比32.6%減)、セグメント利益は4,545千円(前連結会計年度比88.8%減)となりました。ソフトウェアの受託開発につきましては、ハードウェアとの融合による新しいビジネスモデルへの転換を図り、利益体質の構築を目指してまいりました。

物流業界向け、小売業界向け、医療業界向けなどのシステム開発の納入、製造業界、小売業界、食品業界の受注がありましたが、一部案件において進捗の遅れの発生、不採算案件に関して受注損失引当金を計上したため、セグメント利益が前年同期に対し、大幅に減少する結果となりました。

#### (賃貸事業)

2023年8月期第2四半期連結会計期間に竣工したAsTech Osaka Buildingの建設地が大阪市の定める特別用途地区(中高層階住居専用地区)に該当することから、7階~9階の3フロアを住居として賃貸することとなりました。当該賃貸開始に伴い賃貸事業セグメントを追加しております。

2024年8月期末において入居率100%で推移しており、賃貸事業の連結売上高は11,681千円(前連結会計年度比111.4%増)、セグメント利益は2,002千円(前連結会計年度は1,382千円のセグメント損失)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、2,657,236千円となり、前連結会計年度末に比べ62,061千円減少いたし

ました。

主な要因は、現金及び預金の増加215,576千円、売掛金及び契約資産の増加121,206千円、その他流動資産の前渡金の減少19,616千円、その他流動資産の未収還付消費税の減少31,985千円、有形固定資産の減少36,070千円、繰延税金資産の減少66,227千円、未収還付法人税等の減少67,439千円、商品及び製品の減少71,658千円、評価損計上による投資有価証券の減少103,999千円によるものです。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、1,117,939千円となり、前連結会計年度末に比べ333,545千円増加いたしました。

主な要因は、短期借入金の増加205,000千円、長期借入金の増加70,012千円、その他流動負債の未払消費税等の増加40,893千円、未払法人税等の増加36,538千円、1年内返済予定の長期借入金の増加21,658千円、賞与引当金の減少23,886千円、買掛金の減少29,640千円によるものです。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,539,297千円となり、前連結会計年度末に比べ395,607千円減少いたしました。

主な要因は、利益剰余金の減少389,744千円によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、215,576千円増加し、467,291千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は74,149千円(前連結会計年度は、687,498千円の使用)となりました。

これは主に、投資有価証券評価損103,999千円、棚卸資産の減少71,615千円、法人税等の還付額66,935千円、減価償却費66,887千円、その他の流動資産の未収還付消費税の還付31,985千円が資金増加の要因、税金等調整前当期純損失280,986千円、売上債権の増加115,358千円、仕入債務の減少46,243千円が資金減少の要因であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は27,668千円(前連結会計年度は、491,043千円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出25,429千円、無形固定資産の取得による支出2,802千円が資金減少の要因であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は298,925千円(前連結会計年度は、491,050千円の獲得)となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額205,000千円、長期借入れによる収入100,000千円が資金増加の要因、長期借入金返済による8,330千円が資金減少の要因であります。

### (4) 今後の見通し

さまざまな業界でDX(IoTを活用した自動化、業務効率化)の流れが加速している中で、当社の主力商品の「AsReader」は、かかる世の中のニーズに対し、専用コンピュータがパソコンに置き換わったように、ハンディターミナルのような既存の各種専用端末が汎用性の高いスマートフォンに置き換わり、「スマートフォンで業務を行う」ことで、多様なソリューションを提供することにより、市場競争力の強化、シェアの拡大を見込んでおります。

また、次期主力商品として画像認識技術(顔認証技術・人追跡技術など)の研究・開発を進めております。顔認証技術を用いた製品「AsReader GoMA」につきましては、2023年8月期より当社事務所において稼働を開始して

おります。2024年9月より販売を開始しております。顔認証技術・人追跡技術などを活用したセミセルフレジは、引き続き実証実験を行っており、当該システムを一括／分割しての販売開始を目標に、開発を進めております。

バーコードリーダー、RFIDリーダー／ライター、赤外線通信リーダーなどの既存製品については、自動販売機メーカー、物流業界、小売業界、医療業界を中心に大型案件の成約を見込んでおります。海外展開につきましては、米国子会社では物流業界、製造業界、医療業界を中心に新規大型案件の獲得を目指しております。

このような環境の中、翌連結会計年度（2025年8月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高2,719,569千円（前年同期比72.3%増）、営業利益223,764千円（前年同期は224,846千円の営業損失）、経常利益218,964千円（前年同期は176,903千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益99,751千円（前年同期は389,744千円の親会社株主に帰属する当期純損失）を予想しております。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1 US\$=150円を想定しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきまして日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	251,715	467,291
売掛金及び契約資産	267,541	388,748
商品及び製品	646,343	574,685
原材料及び貯蔵品	33,332	39,049
未収還付法人税等	67,441	2
その他	121,882	65,582
貸倒引当金	△3,222	△3,156
流動資産合計	1,385,034	1,532,202
固定資産		
有形固定資産		
建物	484,953	484,953
減価償却累計額	△6,466	△16,165
建物(純額)	478,487	468,788
建物附属設備	166,821	167,501
減価償却累計額	△8,000	△20,538
建物附属設備(純額)	158,820	146,963
構築物	18,101	18,651
減価償却累計額	△609	△1,708
構築物(純額)	17,492	16,943
車両運搬具	641	641
減価償却累計額	△641	△641
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	187,550	197,073
減価償却累計額	△143,449	△166,938
工具、器具及び備品(純額)	44,100	30,134
土地	292,589	292,589
有形固定資産合計	991,490	955,419
無形固定資産		
投資その他の資産	36,649	31,522
投資有価証券	205,250	101,250
繰延税金資産	67,243	1,015
その他	33,985	35,826
貸倒引当金	△355	—
投資その他の資産合計	306,123	138,092
固定資産合計	1,334,263	1,125,034
資産合計	2,719,298	2,657,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	129,468	99,828
短期借入金	460,000	665,000
1年内返済予定の長期借入金	—	21,658
未払金	63,847	63,673
未払法人税等	21,395	57,933
契約負債	32,474	33,735
賞与引当金	53,036	29,150
製品保証引当金	9,036	3,751
受注損失引当金	1,765	6,770
その他	11,726	50,621
流動負債合計	782,750	1,032,124
固定負債		
長期借入金	—	70,012
資産除去債務	1,643	1,543
繰延税金負債	—	11,817
その他	—	2,441
固定負債合計	1,643	85,814
負債合計	784,393	1,117,939
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	804,937	806,087
資本剰余金	794,937	796,087
利益剰余金	331,562	△58,182
自己株式	—	△44
株主資本合計	1,931,437	1,543,947
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,467	△4,650
その他の包括利益累計額合計	3,467	△4,650
純資産合計	1,934,904	1,539,297
負債純資産合計	2,719,298	2,657,236



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	1,759,851	1,578,458
売上原価	1,193,691	1,044,785
売上総利益	566,159	533,672
販売費及び一般管理費	758,238	758,519
営業損失(△)	△192,078	△224,846
営業外収益		
受取利息及び配当金	222	108
雑収入	2,575	3,931
為替差益	11,775	48,476
営業外収益合計	14,573	52,517
営業外費用		
支払利息	897	3,175
貸倒引当金繰入額	1,137	35
雑支出	—	1,362
営業外費用合計	2,034	4,573
経常損失(△)	△179,540	△176,903
特別利益		
固定資産売却益	—	500
補助金収入	2,061	—
受取保険金	—	30
特別利益合計	2,061	530
特別損失		
固定資産除却損	66	613
投資有価証券評価損	—	103,999
特別損失合計	66	104,613
税金等調整前当期純損失(△)	△177,545	△280,986
法人税、住民税及び事業税	10,855	28,698
法人税等調整額	△18,329	80,059
法人税等合計	△7,473	108,757
当期純損失(△)	△170,071	△389,744
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△170,071	△389,744

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純損失(△)	△170,071	△389,744
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,706	△8,118
その他の包括利益合計	1,706	△8,118
包括利益	△168,365	△397,862
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△168,365	△397,862
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	789,412	779,412	501,633	—	2,070,458
当期変動額					
新株の発行	15,525	15,525			31,050
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△170,071		△170,071
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	15,525	15,525	△170,071	—	△139,021
当期末残高	804,937	794,937	331,562	—	1,931,437

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,761	1,761	2,072,219
当期変動額			
新株の発行			31,050
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△170,071
自己株式の取得			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,706	1,706	1,706
当期変動額合計	1,706	1,706	△137,315
当期末残高	3,467	3,467	1,934,904

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	804,937	794,937	331,562	—	1,931,437
当期変動額					
新株の発行	1,150	1,150			2,300
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△389,744		△389,744
自己株式の取得				△44	△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,150	1,150	△389,744	△44	△387,489
当期末残高	806,087	796,087	△58,182	△44	1,543,947

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,467	3,467	1,934,904
当期変動額			
新株の発行			2,300
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△389,744
自己株式の取得			△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△8,118	△8,118	△8,118
当期変動額合計	△8,118	△8,118	△395,607
当期末残高	△4,650	△4,650	1,539,297

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△177,545	△280,986
減価償却費	48,996	66,887
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	103,999
補助金収入	△2,061	—
受取保険金	—	△30
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,016	5,005
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△8,208	△5,284
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	316	△420
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,608	△24,645
固定資産除却損	66	659
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△500
受取利息及び受取配当金	△222	△108
支払利息	897	3,175
売上債権の増減額 (△は増加)	63,566	△115,358
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△357,834	71,615
仕入債務の増減額 (△は減少)	△44,088	△46,243
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△129,885	122,820
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	36,873	△24,654
未払金の増減額 (△は減少)	26,966	716
その他	7,704	△12,112
小計	△527,867	△135,465
利息及び配当金の受取額	222	108
利息の支払額	△1,018	△2,803
法人税等の還付額	1	66,935
法人税等の支払額	△160,898	△2,955
補助金の受取額	2,061	—
保険金の受取額	—	30
営業活動によるキャッシュ・フロー	△687,498	△74,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△351,789	△25,429
有形固定資産の売却による収入	—	500
投資有価証券の取得による支出	△101,250	—
貸付金の回収による収入	12,095	—
無形固定資産の取得による支出	△23,429	△2,802
その他	△26,669	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△491,043	△27,668
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	460,000	205,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	—	△8,330
株式の発行による収入	31,050	2,300
自己株式の取得による支出	—	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	491,050	298,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,121	18,468
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△684,370	215,576
現金及び現金同等物の期首残高	936,086	251,715
現金及び現金同等物の期末残高	251,715	467,291

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別にセクション(部署)を置き、包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社は、扱う製品・サービス別に「AsReader事業」「システムインテグレーション事業」「賃貸事業」の3つを報告セグメントとしております。

「AsReader事業」は、スマートフォンやタブレットに代表される「モバイル」による業務改革をコンセプトにしたハードウェア製品と、当社独自の画像認識技術やAI技術を用いたソフトウェアとしての製品・サービスの開発及び販売を行っている事業です。「システムインテグレーション事業」は、AsReader導入などに関わるソフトウェアの受託開発を中心とした事業です。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	AsReader事業	システムイン テグレーション 事業	賃貸事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,344,608	409,716	5,526	1,759,851	1,759,851	—	1,759,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,344,608	409,716	5,526	1,759,851	1,759,851	—	1,759,851
セグメント利益又は損 失(△)	△33,514	40,657	△1,382	5,759	5,759	△197,838	△192,078
セグメント資産	936,676	106,869	184,283	1,227,830	1,227,830	1,491,467	2,719,298
その他の項目							
減価償却費	37,959	3,661	3,946	45,568	45,568	3,428	48,996
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	85,883	54	188,230	274,168	274,168	89,523	363,691

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- セグメント利益又は損失の調整額△197,838千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- セグメント資産の調整額1,491,467千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、研究所用土地、研究所にかかる建物、建物附属設備、構築物、投資有価証券、繰延税金資産、等であります。
- 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額89,523千円は、主に研究所にかかる建物、建物附属設備、構築物の増加と研究所の完成に伴う建設仮勘定の減少の差額であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

3. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	AsReader事業	システムイン テグレーション 事業	賃貸事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,290,629	276,146	11,681	1,578,458	1,578,458	—	1,578,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,290,629	276,146	11,681	1,578,458	1,578,458	—	1,578,458
セグメント利益又は損 失(△)	△41,195	4,545	2,002	△34,647	△34,647	△190,199	△224,846
セグメント資産	994,456	107,202	178,363	1,280,022	1,280,022	1,377,214	2,657,236
その他の項目							
減価償却費	50,642	4,885	5,920	61,447	61,447	5,439	66,887
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	25,893	273	—	26,166	26,166	743	26,910

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△190,199千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額1,377,214千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、研究所用土地、研究所にかかる建物、建物附属設備、構築物、投資有価証券、等であります。
  - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額743千円は、主に本社などの事業所内で使用する業務用端末の購入等であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。
  3. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため、記載しておりません。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	その他	合計
1,524,939	224,940	9,970	1,759,851

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	264,594	AsReader事業



当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	その他	合計
1,445,247	107,460	25,750	1,578,458

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	165,149	AsReader事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	272.16円	216.40円
1株当たり当期純損失(△)	△24.01円	△54.81円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△170,071	△389,744
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純損失(△)(千円)	△170,071	△389,744
普通株式の期中平均株式数(株)	7,084,169	7,110,296

## (重要な後発事象)

当社は、2024年8月30日開催の取締役会決議に基づき、EVO FUND及び代表取締役鈴木規之の資産管理会社であるトリプルウィン株式会社に対して下記の通りストックオプションとしての新株予約権を、2024年9月17日に発行しております。

## (1) EVO FUND

	第5回新株予約権	第6回新株予約権	第7回新株予約権
発行決議日	2024年8月30日		
割当日	2024年9月17日		
新株予約権の数	6,400個	1,600個	800個
発行価額	総額1,760,000円 (新株予約権1個当たり 275円)	総額195,200円 (新株予約権1個当たり 122円)	総額95,200円 (新株予約権1個当たり 119円)
新株予約権の目的となる株 式の種類と数	普通株式 640,000株	普通株式 160,000株	普通株式 80,000株
新株予約権の払込期日	2024年9月17日		
行使価額及び行使価額の修 正条項	当初行使価額：1株当たり 550円 行使価額は、各修正日の前 取引日の東京証券取引所 における当社普通株式の普通 取引の終値(同日に終値が ない場合には、その直前の 終値)の100%に相当する 金額に修正される。但し、 修正後の行使価額が下限行 使価額(1株当たり242 円)を下回ることとなる場 合、行使価額は下限行使 価額とする。	当初行使価額：1株当たり 700円 行使価額は、各修正日の前 取引日の東京証券取引所 における当社普通株式の普通 取引の終値(同日に終値が ない場合には、その直前の 終値)の100%に相当する 金額に修正される。但し、 修正後の行使価額が下限行 使価額(1株当たり242 円)を下回ることとなる場 合、行使価額は下限行使 価額とする。	当初行使価額：1株当たり 1,000円 行使価額は、各修正日の前 取引日の東京証券取引所 における当社普通株式の普通 取引の終値(同日に終値が ない場合には、その直前の 終値)の100%に相当する 金額に修正される。但し、 修正後の行使価額が下限行 使価額(1株当たり242 円)を下回ることとなる場 合、行使価額は下限行使 価額とする。
権利行使期間	2024年9月18日から2027年9月17日まで		
割当先	EVO FUND		

## (2) トリプルウィン株式会社

	第5回新株予約権	第6回新株予約権	第7回新株予約権
発行決議日	2024年8月30日		
割当日	2024年9月17日		
新株予約権の数	1,600個	400個	200個
発行価額	総額440,000円 (新株予約権1個当たり 275円)	総額48,800円 (新株予約権1個当たり 122円)	総額23,800円 (新株予約権1個当たり 119円)
新株予約権の目的となる株式の種類と数	普通株式 160,000株	普通株式 40,000株	普通株式 20,000株
新株予約権の払込期日	2024年9月17日		
行使価額及び行使価額の修正条項	当初行使価額：1株当たり550円 行使価額は、各修正日の前取引日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の終値）の100%に相当する金額に修正される。但し、修正後の行使価額が下限行使価額（1株当たり242円）を下回ることとなる場合、行使価額は下限行使価額とする。	当初行使価額：1株当たり700円 行使価額は、各修正日の前取引日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の終値）の100%に相当する金額に修正される。但し、修正後の行使価額が下限行使価額（1株当たり242円）を下回ることとなる場合、行使価額は下限行使価額とする。	当初行使価額：1株当たり1,000円 行使価額は、各修正日の前取引日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の終値）の100%に相当する金額に修正される。但し、修正後の行使価額が下限行使価額（1株当たり242円）を下回ることとなる場合、行使価額は下限行使価額とする。
権利行使期間	2024年9月18日から2027年9月17日まで		
割当先	トリプルウィン株式会社		